

高薄町長

介護予防対策を進めるとともに、いざ介護が必要となった際にサポートできる方を養成することが重要と考える。

まだまだ60歳を過ぎても、元気で活躍されている方も多く、町内会等を単位とした高齢者のネットワークづくりを今年度から進め、みんなで支えあう協働のまちづくり、福祉のまちづくりに向けて取り組んでいきたい。

専門委員制度の導入

中島里司 議員

まちづくりの推進のため、専門委員制度を導入したいとのことが示されている。役場機構改革の協議のなかで検討されなかったのか。

また、財政再建を進めている時に、突然400万円余り

の支出はいかがなものかとの思いである。

職員で対応可能と思うが、町長の考えを伺う。

①制度採用の経緯は。

②行財政改革との整合性については、どう考えているのか。

高薄町長

①新しいまちづくりを指していくうえで、今後、地域力をいかに高めていくかが問われており、その手段として、地方自治法に定められている専門委員制度にたどり着いたものである。

機構改革の協議等を進めてきたなかで、早い時期に打ち出せばよかったとも思っているが、職員に対しては、庁内会議等で専門委員設置の考え方については説明を行ってきた。

②行財政改革との整合性については、これまでどおり、職員で対応が可能な部分は職員で行い、専門性を有しないと対応が難しい

部分は、専門委員を設置して対応していくこととしている。

この経費を計上したことが、行財政改革を妨げるものではないと考えている。

社会教育施設等の使用料見直しは

西山輝和 議員

町長は12月定例会で、使用料について不都合な面は早々に改善するとしてたが、3月定例会ではこの件に関する条例改正案は提案されていない。どんな事情があったのか。

また、いつ頃までにどのような内容で改善していくようとしているのか伺う。

高薄町長

使用料条例改正については、利用団体への説明、使用料等審議会への諮問などを踏まえ、十分な議論



体育館では高校生まで使用料を無料にし、子どもたちのスポーツ活動を推進している。

を行ったうえで、早い時期に提案していく。

内容としては、65歳以上の無料化について公民館等に適用した場合の影響や、少子化対策としての料金設定、更に体育館内の各競技場の料金設定についても、十分に検討をしていきたい。

行財政健全化計画について

西山輝和 議員

①第二次緊急3か年計画

は、平成22年度で終了するが、取り組んできた結果、財政はどのように好転したのか。それとも好転していないのか。

②執行方針には、新たな緊急3か年計画の策定の有無について触れられていないが、緊急計画策定の必要性はないと判断しているのか。

③行財政健全化計画の効果で、財政健全化がはかられたとすれば、これまで町民や職員が我慢してきたものなかで、今後復元しようと考えているものは何か。

高薄町長

①町債の償還に加え、国営土地改良事業の償還が開始されたこと、その後の地方交付税の減額、また三位一体改革も重なって財政状況が悪化した。が、財政の健全化に向けた取り組みにより、一定程度の基金を確保しながら、債務残高を大きく縮小してきたところである。

②行財政健全化実行プランは、平成26年度までの10か年計画であり、継続のため、新たな緊急計画は策定しないが、実行プランに基づいて、今後も行財政改革を進めていくと考えている。

③復元という意味が、旧来の形に戻るという意味ならば復元は行わない。新たな視点で、時代の変化を見据えながら、時々の課題や問題を解決するための対応をしっかりと議論しながら、取り組んでいきたいと考えている。

掲載以外の一般質問

- 奥秋康子 議員
旧松沢小学校の利活用
- 原 紀夫 議員
ご当地グルメ開発推進の支援
- 西山輝和 議員
サービスエリアの設置で物産販売と町内情報の発信を